

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

東北文教大学短期大学部 実施報告書



実施主体 子ども学科佐久間ゼミ

実施内容 令和4年10月9日の大学祭にて虐待防止啓発の動画を限定で流した

①事前に取り組んだ内容

- ・ゼミでは例年児童相談所、児童福祉施設、家庭裁判所などの見学を行っていたが、コロナ禍でもあるため今年度が実施はせず、児童虐待およびオレンジリボン運動について学ぶため文献、資料、過去の訪問記録などから学びを深めた。
- ・大学祭実行委員会に働きかけ、動画での参加を依頼した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・大学祭は、一部対面方式の企画も実施しながら、オンラインでも行われたため、ゼミではオレンジリボン運動に関する約2分間の動画を作成し、本学の大学祭にて学生、教職員限定の動画配信と対面方式の企画を行った体育館でのイベントの合間で会場に動画を流した。

③オレンジリボン運動を終えて…

- ・私たちは将来保育者を目指す学生であり、児童虐待や社会的養護に関心を持ってこの活動に参加し、この活動を通してより意識が高まった。
- ・大学祭での動画配信後学生や一般の方を対象としてアンケートを実施した。アンケートからは児童虐待防止について、「周りでの関わり合いが大切」「社会全体で考えなければならない問題」「地域で見守らなければならない」「児童相談所や児童福祉施設との関わりが必要」などといった意見があった。
- ・啓蒙活動のため、ゼミでは継続して「学生によるオレンジリボン運動」に参加しているが、今後もその必要性を感じる。
- ・これから先も様々な形で「オレンジリボン運動」に参加していきたいと思う。

